



環境保全活動

物流の環境負荷低減

物流の環境負荷には、大別して、「梱包に係わる環境負荷」と「運搬に係わる環境負荷」の2つがあります。物流業務を担当する(株)沖電気物流センターは、この物流の環境負荷低減に取り組んでいます。

■ 梱包に係わる取組み

「梱包」の環境負荷には、梱包材資源の消費や梱包材廃棄物の排出などがあります。この環境負荷低減のため、3R(Reduce、Reuse、Recycle)を考慮した梱包設計と、環境に優しい材料への代替に取り組んでいます。

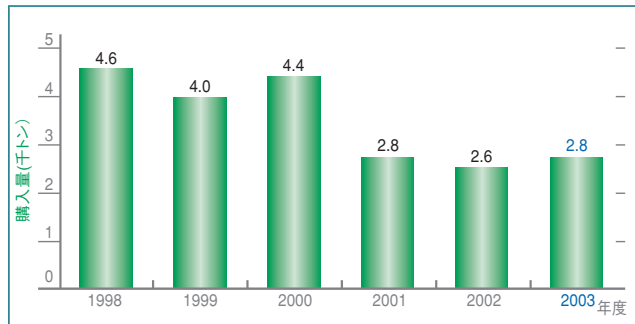
◎ 省資源梱包の推進

梱包材料を減量するため、省資源梱包に取り組んでいます。たとえば、「簡易梱包方式」は、埃を防ぐためのポリエチレン袋のみで製品を覆ったもので、輸送時は養生材などで固定し、傷の発生を防ぎます。段ボール箱で梱包したものと同等の輸送品質を維持できます。



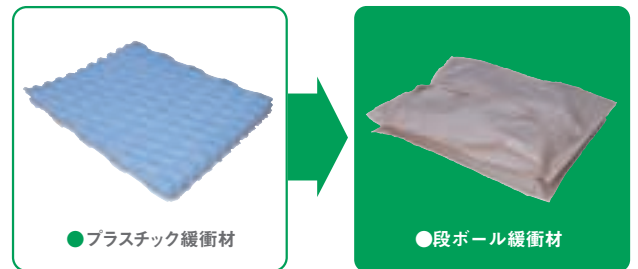
● ATM(現金自動預払機)の簡易包装形式

● 梱包材料の購入量推移



◎ 環境に優しい梱包材料への代替

発泡スチロールなどの「プラスチック緩衝材」から「段ボール緩衝材」など古紙利用の緩衝材への代替を推進しています。



◎ ダンボールパレットの活用

パレットとは、物を載せてフォークリフトなどで運ぶための荷台です。従来から使用していた木製パレットは、重く取扱いが不便なうえ、リサイクルが困難でした。この代替として、段ボールパレットの採用を推進しています。



■ 運搬に係わる取組み

「運搬」の環境負荷には、トラックが使う軽油など「化石燃料資源の消費」、排気ガス中の「CO₂、NO_x、SO_xなどの排出」があります。対策として、CNG(圧縮天然ガス)など、低公害代替燃料への切替えや、アイドリングストップなどのエコドライブを実行しています。また、鉄道や船輸送へのモーダルシフト、積載率向上・共同配送便の運行など物流改革を推進しています。

◎ モーダルシフトでCO₂排出量を削減

沖電気グループの国内の物流業務における主たる環境負荷はトラック輸送です。(株)沖電気物流センターは、早くからトラック輸送を環境負荷の少ない鉄道輸送に切替えるモーダルシフトの導入を推進してきました。生産拠点である関東地区から遠距離にある北海道、東北、中国、四国、九州の各地区は、既にモーダルシフトを完了し、引き続き中部、関西地区について取り組んでいます。また、トラック輸送については、委託会社と組織する「懇話会」で、環境対応車両の使用やアイドリングストップなどを励行していくことで意識の統一を図り、エコドライブを推進しています。

◎ 航空輸送ルートの短縮によりCO₂排出量を削減

海外生産比率の高い半導体部門では、国内外で生産された半導体製品は、一度、東京都八王子市の物流基地を経由してから国内外へ配送していました。最近の海外売上げの増加に伴い、時間・物流コストのムダと環境負荷が大きくなっていました。このため、新たに海外工場内に物流拠点を設立し、ここから直接世界各地のお客様へ配送する物流ルートに変更しました。航空輸送距離が短縮し、CO₂排出量を削減できました。

● 運搬のCO₂排出量推移

